

いわみざわ男女共同参画マガジン

ア・ライク

ア・ライク (A'like) ～共に生きる～
＜同様の・等しく＞という意味を持ちます。

2020年 VOL. 18



＜岩見沢名所探訪シリーズ⑤＞

クラインガルテン

「岩見沢市栗沢クラインガルテン」は自然とふれあう農村体験公園です。滞在型や日帰り型の市民農園をはじめ、いも堀りやトウキビのもぎ取りなどの収穫体験、農産物の調理・加工などいろいろな農業を体験できます。

※『クラインガルテン』とはドイツ語で「小さな庭」と言う意味です。

コンテンツ

- 特集 子どもたちを守れますか？
- あ・らいくな人
- 男女共同参画市民フォーラム
- ステップアップ講座
- 市民会議の活動報告

特集 子どもたちを守れますか？

子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。

少子化や家庭の形態の多様化、近隣との付き合いの希薄化などの社会状況の変化の中でいじめ、児童虐待など様々な社会問題が生じています。

子どもたちの痛ましい事件をメディア等で耳にすることが多くなった今、子どもたちを守るために何をしたらよいか考えてみませんか。

■ いじめ

文部科学省の調査によると、いじめの認知件数は、平成30年度の全国の小中学校、高等学校、特別支援学校の合計で、54万件を超え、過去最高を更新しています。

また、心身に大きな被害を受けるなどの「重大事態」も過去最多となっています。

最近のいじめの傾向は、身体への直接的な攻撃を受けるものより、心理的な攻撃により精神的な苦痛を受けるものが増えています。

また、子どもたちもパソコンやスマートフォンを利用するようになり、LINEを中心としたSNSで悪口を書き込んだり、グループを外したりするネットいじめも多発しています。

他にも、最近では「LGBT」や「性的マイノリティ」という言葉をよく聞くようになり、性の多様性への関心が高まっていますが、性的マイノリティの子どもたちは、第三者からの差別的な行動や心ない発言で傷つくことも多く、嫌がらせを受けるなどのいじめに遭ってしまうこともあります。

※SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）とはインターネットを使って人々と交流できるサービスの総称です。

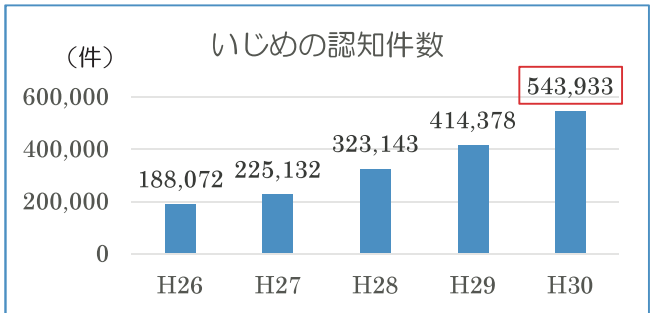
■ ネット被害

近年のスマートフォンの普及により、誰でも簡単にインターネットが利用できる環境になっています。内閣府の調査によると、中学生で7割、高校生では9割以上がスマートフォンでインターネットを利用しています。

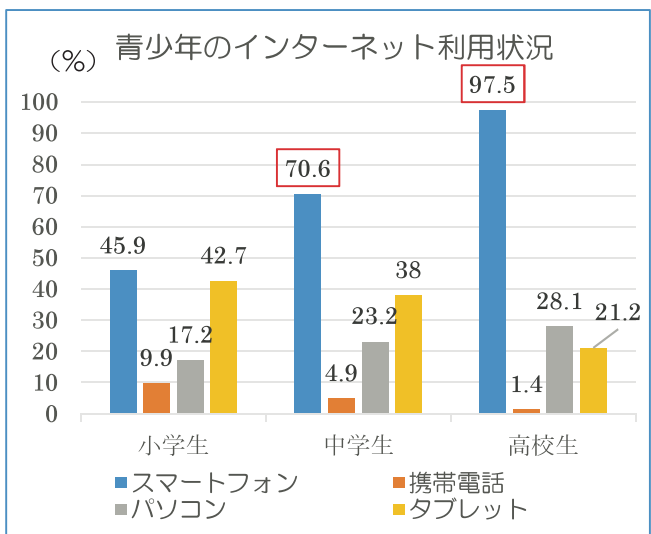
インターネットは生活を便利で豊かなものにしてくれますが、使い方次第では「加害者」にも「被害者」にもなる恐れがあります。

警察庁が公表した犯罪情勢統計ではSNSが原因で被害に遭った子どもは令和元年中で2,095人いました。

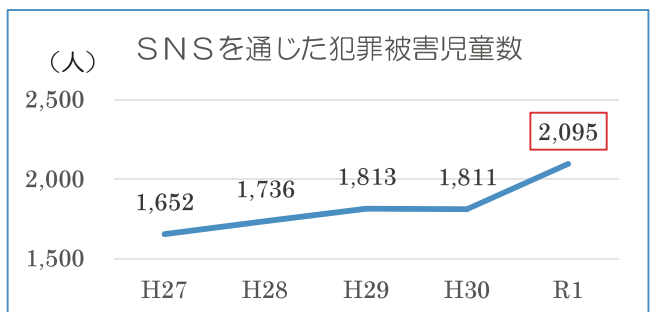
日頃から、インターネット上での情報発信には責任を持つことや、怪しいサイトにはアクセスしないなど、自分から危険に近づかないようにすることを子どもに伝えることが大事です。



文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」より



内閣府「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」より



警察庁「令和元年犯罪情勢統計まとめ（暫定値）」より

■ 性的マイノリティへの偏見や差別

性的マイノリティとは、何らかの意味で性のあり方が多数派と異なり少数派である人のことをいいます。

性的マイノリティの子どもたちは、周囲の偏見を恐れ性的マイノリティであることを隠したり、周囲に知られて孤立してしまうなど、困難な状況で生活をしている場合があります。

また、周囲の差別的な行動や心ない発言で傷ついたり、いじめにあってしまうこともあります。

自身の性のあり方に悩む子どもたちが安心して生活するためには、性の多様性に対する周りの理解が必要になってきます。

■ 児童虐待

幼い子どもが児童虐待によって、命を落としてしまうニュースを見かけることが多くなっています。

児童虐待は、家庭という密室の中で行われるため発見しにくく、加害者が親や同居者であるために、子どもは自ら周囲に助けを求めたらさらにひどい仕打ちを受ける、親に嫌われるという感情が働き、言いだせない場合が多いのです。

岩見沢児童相談所によると、平成 30 年度に虐待の疑いで児童相談所に通告があった児童の人数は 297 人で過去最高となり、なかでも「心理的虐待」が約 7 割を占めています。なお、警察庁が令和元年に虐待を事件として摘発した件数も年々増加しており、令和元年は 1957 件と最多を更新しています。

児童虐待の防止は、地域や関係機関と連携を図りながら社会全体で取り組むべき重要な課題です。

「性」のあり方は様々です

【性的指向：どのような性別の人を好きになるか】

- L** レズビアン（女性同性愛者）
- G** ゲイ（男性同性愛者）
- B** バイセクシュアル（両性愛者）

【性自認：自分の性をどのように認識しているか】

- T** トランスジェンダー（身体の性と心の性が一致しない人）

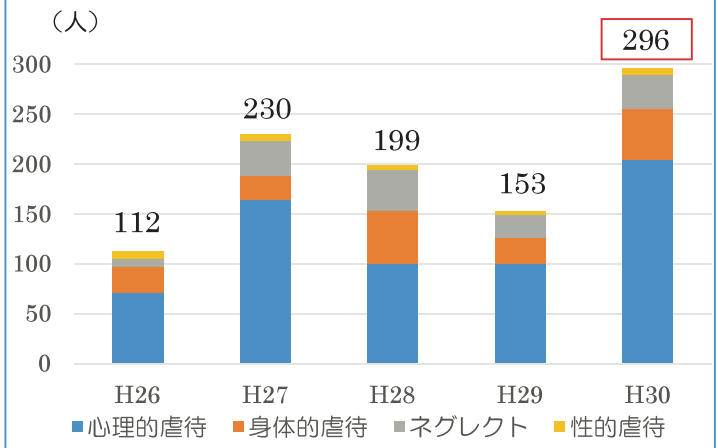
児童福祉法及び児童虐待防止法の改正

子どもの安全が守れなかった児童虐待事件が相次いだことにより、児童虐待の防止策を強化するため、児童福祉法と児童虐待防止法が改正されました。

【主な改正ポイント】

- ・親がしつけにあたって、子どもに体罰を加えることを禁止。
- ・児童相談所に専門的な知見を踏まえた対応ができるよう、医師や保健師の配置や、弁護士にも相談できる体制の整備を義務づけている。
- ・さらに関係機関の連携を強化するため、国や地方自治体は体制整備に努める。

岩見沢児童相談所児童虐待相談状況



「北海道岩見沢児童相談所業務概要（令和元年版）」より

虐待の種類	内 容
身体的虐待	殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、病気になっても病院に連れて行かない など
心理的虐待	言葉による脅かし、無視、兄弟間での差別的扱い、子どもの面前で行うDV など



児童虐待かと思ったらすぐに電話してください

【児童相談所全国共通ダイヤル】

いちやく
189

あ・らいくな人

子どもたちの環境を守るためには、子どもたちが安心して過ごせる居場所を用意してあげることも必要です。そんな居場所を提供していることも食堂が全国的に広がっています。今回は、岩見沢市内でこども食堂を運営している皆さんにお話を聞きました。

▶「すまいる」を運営している代表の藤田美重子さんにお話を聞きました。

Q こども食堂を始めたきっかけは？

最初のきっかけは娘です。埼玉に嫁いだ三女が、近所の共働き世帯の子どもたちがご飯を食べずに外で遊んでいる姿を見て、「何とかしてあげたいので、こども食堂をやりたい」と言っているのを聞いて、私もやってみたいと思いました。

その後、こども食堂を最初に始めた方の話を聞いたり、非行少年などに無償で食事を提供している方の活動をテレビで見て、「私もできないことはない」と後押しされました。もろもろのきっかけが重なりこども食堂を始めることになりました。

場所は天理教夕張大教会の食堂で開催していますが、天理教でなく私個人で活動を始めました。市内にはまだこども食堂がなかったこともあり、参加者の皆さんにも喜んでもらっています。



Q 開催内容を教えてください

平成30年3月にスタートし、春休み、夏休み、冬休み前の年に3回開催しています。定員は50名で、申し込み不要です。メニューは毎回チキンカレーが主食と決めていて、副食をその都度変えています。料金は小中学生が無料で、高校生以上は300円です。調理は私の個人的な友人にお手伝いをお願いしていますが、皆さん、私と同様に楽しんで活動しています。また、野菜やお米などを提供して下さる方もいて大変感謝しています。

食後は、2階に上がって用意しておいた各種ゲームで遊んでいる子どもたちもいます。

Q 今後の展望について教えてください

最初はどのくらい来てくれるか、ハラハラドキドキでしたが、これまでにたくさん子どもたちが来てくれました。「一人で食べても淋しいから」と言って来てくれるシニアの方もいます。大人の方も大歓迎です。

参加者の中には、絵本の読み聞かせやギターを弾いて子どもたちと一緒に歌っている方々がいるので、今後もいろいろな人たちと一緒に活動できればと思っています。

子どもたちが一時でも喜んで過ごせる場所を提供できるように、これからも無理のないよう続けていきたいです。



- ▶年3回（春・夏・冬）
11:30～13:30
- ▶天理教夕張大教会
（9条西6丁目）
- ▶お問合せは藤田さんへ
☎070-5604-0628

▶「放課後れすとらん」を運営している社会福祉法人空知の風の松田さんにお話を聞きました。



Q こども食堂を始めたきっかけは？

うちは社会福祉法人で障がい者の支援をしている施設なんですが、ちょうど社会貢献活動を何かしたいと思っていました。そんなとき、以前からお付き合いのあった緑陵高校ボランティア部がこども食堂に関わりたいという希望を持っていると聞き、こども食堂をやってみようということになりました。こども食堂を開催するには、うちのスタッフと緑陵高校ボランティア部だけでは足りないので、岩見沢ロータリークラブの方や地元の方々の協力を

をいただいて活動しています。ボランティアの方には、食堂の仕事の他、あそびの場として向かいの西部連合会館を利用しているのですが、そこでのお手伝いもしてもらっています。

Q 開催内容を教えてください

令和元年5月にスタートし、回数は季節ごとに年4回、パン工房春いろで開催しています。2月は冬メニューでグラタンにしました。カレーや豚汁のときもあります。

定員は50名で、事前申し込み制にしています。最近はQRコードでの申し込みが多く驚いています。回を増すごとに参加者が増えていますが、可能な限り受け入れようと思っています。平日の夕方ということもあって、親子で来られる方がほとんどです。料金は小中学生無料で、高校生以上は200円です。

向かいの西部連合会館には、いろいろなゲームや紙芝居を用意しています。毎回、企画を用意していて、もちつきやどん菓子を作ったりもしました。今回は、チョコパフェづくり体験を予定していましたが、食品衛生法上難しいのでスタッフが作ったものを食べてもらいました。

Q 今後の展望について教えてください。

パン工房春いろを食堂、西部連合会館を遊びの会場として活動していますが、建物を移動する時に道路を横断しなければならないので、ロータリークラブの方に誘導してもらっています。もっと広い同じ建物の中でできればと思っています。

また、子どもたちに宿題など、学習支援も考えていきたいと思っています。



- ▶年4回（春夏秋冬）
16:00～19:00
- ▶パン工房春いろ
（5条西11丁目）
- ▶お問合せは松田さんへ
☎24-6675（空知の風）

▶「げんき」を運営している国際ソロプチミスト岩見沢の皆さんにお話を聞きました。

Q こども食堂を始めたきっかけは？

私たちは日々活動しているなかで、もっと子どもたちの顔が見える活動がしたいといつも思っていました。そんなとき、知り合いの校長先生から朝食を食べていなかったり、週末、ご飯を食べられない子どもたちがいることを聞いて、そんな子どもたちに食事と居場所を提供するために、みんなでこども食堂を始めようと決めました。

私たちはもちろんですが、たくさん来てくれるボランティアの方々も、すごくやる気を出してくれています。



Q 開催内容を教えてください？

令和元年11月にスタートし、月1回、第3土曜日にナカノタナ2の2階で開催しています。毎回、違ったメニューで100食分を用意しています。料金は小中学生は無料で、高校生以上は募金としていただいています。

また、「あそんで学べるゲーム」を用意していて、ボランティアが子どもたちにゲーム感覚で勉強を教えています。まだ、始めたばかりなので、いろいろなことが出てくると思いますが、参加人数が少なくても長く続けて行きたいと思っています。

Q 今後の展望について教えてください。

ボランティアの方たちが一生懸命手伝ってくれているし、いろいろな方から食材を提供していただいたり、とてもありがたいです。

少しでも多くの子どもたちが参加出来るように、各小学校を回って声掛けをしたいと思っています。

これからも地場産の食材を使っておいしい食事を作り、岩見沢の子どもたちにより良い環境を提供するため、ずっと幅広く続けて行きたいと思っています。



- ▶毎月第3土曜日
11:30～13:30
- ▶ナカノタナ2
（5条西2丁目）
- ▶お問合せは杉浦さんへ
☎090-3891-5988

男女共同参画市民フォーラム

テーマ：絆ではぐくむ共生社会

日時：令和元年6月29日（土）午後1時30分～3時30分

会場：北海道グリーンランドホテルサンプラザ

講演 男女共同参画社会をめざして

白井 文さん（前尼崎市長）

2期8年間務められた尼崎市長時代に発生したJR脱線事故のすさまじい体験談と、その経験の中で市長の立場から学んだ様々な“気づき”について話されました。最後にすべての組織にはレジリエンス※が重要で、それを鍛えるための4つの視点として、①自分の頭で考える ②多様な価値観 ③責めるより褒める ④コミュニケーション能力について話されました。白いスーツ姿ではつらつと登壇した白井さんの快活な話し方に、会場の参加者はたちまち引き込まれました。 ※レジリエンス：困難を乗り越える力、回復力、復元力



会場の声

- ・「素の時に自分を磨いておくこと」経験からのお話は大変参考になりました。
- ・常日頃から、自分の頭で考え、体を動かす訓練をしておくことが大切だと教えてもらいました。
- ・多様性の社会、困難を乗り越える力など、現実社会、出会いの大切さを感じました。

第四回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

応募総数 33 名 94 作品
ご応募ありがとうございました

フォーラムの開会に先立ち、男女共同参画川柳コンテストの表彰式を行いました。

＜大賞＞

平等の 生き方しっかりと 子に繋ぐ 小林 英子 さん

＜入選＞

分担で 育児も家事も 自然体 大野 美奈子 さん

男女参画 一たすーが 三になり 高松 時子 さん

ママ仕事 美味しく出来た パパコック 梶田 静子 さん

夢がある そこに男女の 壁はなし 平山 紗也華 さん

まだ若木 かけ声だけでは 根ははれず 宮部 留美子 さん



開催準備中!! 2020 男女共同参画市民フォーラム

テーマ：多様性を認め合える社会をめざして

日時：令和2年6月28日（日）午後1時30分～午後3時30分

会場：北海道グリーンランドホテルサンプラザ（岩見沢市4条東1丁目）

講演：性的マイノリティってなに？

～楽しく学ぶ、ジェンダー、セクシュアリティ～

講師：仲岡 しゅん さん（弁護士）

※新型コロナウイルスの影響により日程が変更になる場合があります。なお、詳細については広報いわみざわ、市ホームページ、ポスター等でお知らせします。



今回もいろいろな専門の方をお招きし、5講座を開催。延べ191人の方々が受講されました。

第1回 小さな集落「美流渡」だからこそできる、新しい出版活動

森の出版社ミチクル代表 来嶋路子さん

東日本大震災を機に東京の出版社の編集長からフリー編集者となり家族5人で美流渡に移住。収入が減ったけどシンプルな生活になり、希望が持てる様に。大手出版社のシステムに過疎地の小さな出版社が対抗出来るとしたら。そんな意識が重要なのでは。「それもいいかもね」と否定しないで生きて行けたら、ステップアップはしないがワクワク・ドキドキの思いがけない展開の人生を送るのではないかと感じていると、田舎暮らしを楽しそうに話されました。



第2回 ひきこもり8050問題～生きる力を育む支援

NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク理事長 田中敦さん

8050問題は、早い段階での対応が非常に重要です。まずはご家族の方が相談に来てほしい。50代の当事者は、ほめられた経験がほとんどない。マイナスのところばかり指摘され、自分に自信が持てなく人前にも出ることができない。地域の方が、良い所を見つけてほめてあげることが自信回復の一つになっていくのでは。その人らしさを認める機会を蓄積して行って就労手前支援を手厚くすることが大事であると話されました。



第3回 呼吸と繋がる、私と繋がる～ヨガの呼吸による心身の気づき

ヨガインストラクター 小森こずえさん

小森さんは、幼少より喘息持ちで内向的な自分を変えるために2005年よりヨガを始め、インドにも行ってヨガセラピストの資格を得たと話されました。ヨガは心と体を繋げる呼吸が大事であり、日常で呼吸を意識していくと自分の感情が見えてくるようになる。その後、イスに座ってできるヨガの呼吸法の実践を行いました。呼吸は自律神経の支配下にあるが、呼吸を通して内なる自分に繋げるものがヨガであると締められました。



第4回 スポーツと豊かな生活

北海道教育大学岩見沢校教授 山本理人さん

スポーツとは遊戯性、競技性、健康増進等の要素を持つ運動の総称。サッカー、スキーなど身体で道具を使い、技術、技能を高め競争するものと、ビリヤード、トランプ等、人に自分の技能を促し、相手の技能を借り競技するものがある。

最近は都市型スポーツなる個人競技も多く、健康増進と繋がり、すべての人がスポーツを楽しむことができ、変化、外洋性に富み、生活に豊かさをもたらし、絆が生まれ、まちづくりと繋がっていくと話されました。



第5回 人生の扉を開ける～今の自分を活かして次のステップへ

空とぶペンギン校代表 小林真樹子さん

20代にうつ病となり、その後心理学を学び、夢を語る大人のコーチング講師となられた小林さんと一緒に、現在と未来の自分を知るワークショップを行いました。自分らしさは、自分自身が知っていて自分が大切にしているもの＝個性。自分の長所は大人になるほど気づかないが、だめな所も見方を変えると長所である。自分の長所の発見は周りの人の気持ちも見えてくる。長所や個性をより一層使って未来の扉を開いてくださいと話されました。



市民会議の活動報告

啓発活動

男女共同参画週間街頭啓発 令和元年6月24日



これからもさまざまな場面で、男女共同参画の啓発をしていきます。

秋の街頭啓発 令和元年10月17日



緑陵生と一緒に
行いました。

女性に対する暴力を なくす運動



令和元年11月12日
～25日



研修活動

北海道立女性プラザ祭 令和元年11月7日



FMラジオ局で活躍していた中田美智子さん。男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会になってほしいと話していました。

女性活躍推進セミナーin そらち 令和2年1月21日



空知の様々な職場で活躍する女性たちのトークセッションは、とても参考になりました。

編集後記

今年度もいろいろなことがありました。その中でも台風15号、19号による河川の氾濫は日本列島に深い爪痕を残し、栃木県佐野市での日本女性会議も中止になりました。被災された地方の復興を願い、穏やかな日常が戻りますこと、お祈りいたします。さて、もう一つは、ラグビーW杯が盛り上がり「ONE TEAM」が流行語大賞に選ばれたことです。ここ最近は新型コロナウイルスの感染拡大の懸念がありますが、私達の市民会議もこの精神にあやかり、一丸となって活動していきたいと意を新たにしているところです。

市民会議会員募集中

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、一緒に活動していただける実行委員を募集しています。

男女共同参画への理解を広めるため、岩見沢市と協働で様々な取り組みを行ってみませんか。

年齢や性別などは問いません。ぜひお気軽に下記事務局までお問い合わせください。

ア・ライク
VOL.18
2020年3月

発行 いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議
【事務局】岩見沢市総務部市民連携室
男女共同参画担当
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
☎0126-23-4111（内線422）
E-mail : danjo@i-hamanasu.jp